Nikon

簡単操作ガイド

カメラを使う前に確認しよう

撮影の準備をしよう

いよいよ撮影！

便利な機能を使おう

PictureProject をインストールしよう

画像をパソコンで見てみよう

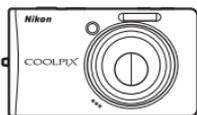
ニコンデジタルカメラ　クールピクス S500

COOLPIX S500

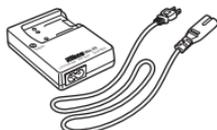
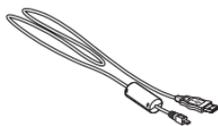
Jp

カメラを使う前に確認しよう

箱の中身を確認する

カメラと付属品を取り出し、以下のものがすべてそろっていることをご確認ください。

COOLPIX S500 カメラ本体

ストラップ

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL10 ※（バッテリーケース付き）

バッテリーチャージャー MH-63（電源コード付き）

USB ケーブル UC-E6

オーディオビデオケーブル EG-CP14

- 簡単操作ガイド（本紙）
- 使用説明書
- 保証書
- PictureProject ソフトウェア CD-ROM（黄色）
- PictureProject ソフトウェア使用説明書 CD-ROM（銀色）

※充電してからお使いいただけます（3）。

SD メモリーカード（以下 SD カードと表記します）は付属していません。使用説明書の 116 ページに記載されている SD カードをお使いください。

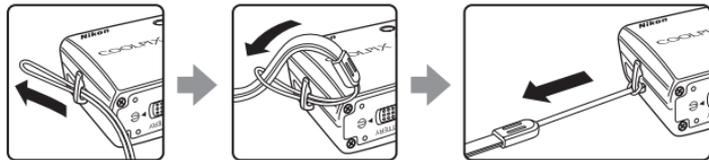
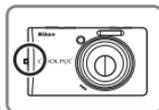
カスタマー登録のご案内

PictureProject のインストール前または後に、「Welcome」ウィンドウで「カスタマー登録」ボタンをクリックすると、インターネットを通じてカスタマー登録ができます（インターネットに接続できる環境が必要です）。製品の最新情報や便利な情報を満載したメールマガジンの配信も同時にお申し込みいただけますので、ぜひご利用ください（登録時に必要な登録コードは、付属の「登録のご案内」に記載されています）。

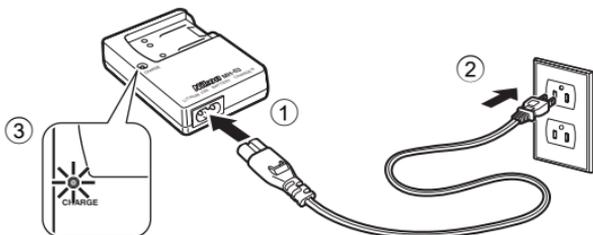
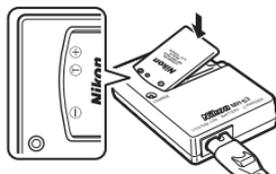
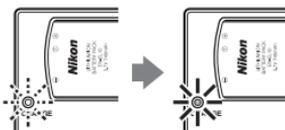
: 関連情報を記載した参照ページです。

撮影の準備をしよう

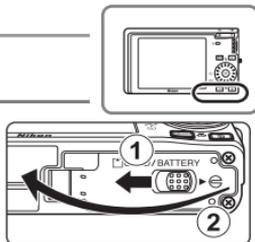
Step 1 ストラップを取り付ける

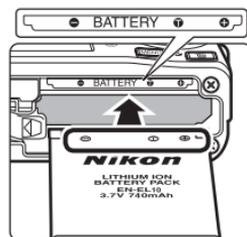
次のようにストラップをカメラに取り付けます。

Step 2 バッテリーを充電する

付属の Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL10 を、付属のバッテリーチャージャー MH-63 で充電します。

2.1 電源コードのACプラグをACプラグ差込み口に①、電源プラグをコンセントに差し込む ②
CHARGE ランプが点灯します ③。

2.2 右図のように、バッテリーをバッテリーチャージャーにセットする

2.3 CHARGE ランプが点滅し、充電が始まる
CHARGE ランプが点灯したら、充電完了です。
残量がないバッテリーの場合、充電時間は約100 分です。

Step 3 バッテリーを入れる

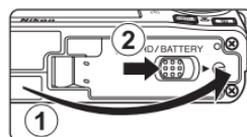
充電したバッテリーをカメラに入れます。

3.1 バッテリー /SD カードカバーを開ける

3.2 バッテリーを奥まで差し込む

バッテリーロックレバーがカチッと鳴り、バッテリーが固定されます。

逆挿入注意

バッテリーの向きを間違えると、カメラが破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

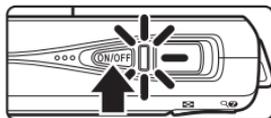
3.3 バッテリー /SD カードカバーを閉じる

カバーを閉じ ①、ロックレバーを▸⊖側にスライドさせます ②。

バッテリーを取り出すときは

電源ランプが消灯していることを確認してから、バッテリー/SD カードカバーを開けてください。オレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押すと①、バッテリーが押し出されるので、まっすぐ引き抜いてください ②。

カメラを使った直後は、バッテリーが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

Step 4 電源を ON にする

電源スイッチを押して、
電源を ON にします。

撮影時の節電機能について

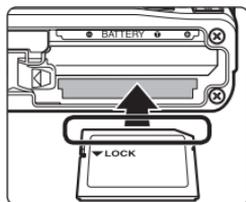
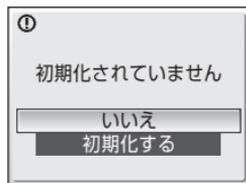
カメラを操作しない状態が約 5 秒続くと、バッテリーの消耗を抑えるため、液晶モニターの表示が暗くなります。カメラを操作すると、元の明るさに戻ります。また、カメラを操作しない状態が約 1 分続くと、液晶モニターが自動的に消灯します。そのまま 3 分経過すると、電源が自動的に OFF になります（オートパワーオフ機能）。

SD カードを使う

撮影した画像は、カメラの内蔵メモリー（約 26 MB）、または市販の SD カードのどちらかに記録されます。カメラに SD カードを入れると SD カードに記録され、SD カードの画像を再生、削除、または転送できます。内蔵メモリーを使うときは、SD カードを取り出してください。

SD カードの入れ方

1 電源ランプが消灯していることを確認します。
点灯しているときは、電源スイッチを押して電源を OFF にしてください。

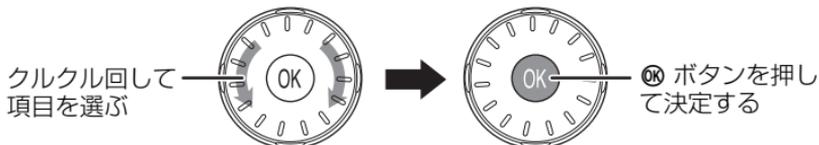
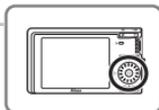
2 バッテリー /SD カードカバーを開け（Step 3.1 参照）、右図のように正しい向きで SD カードを入れ、カチッと音がするまで差し込みます。
- 向きを間違えて入れると、カメラや SD カードが破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ず確認してから挿入してください。
- 挿入後、バッテリー /SD カードカバーを閉めてください（Step 3.3 参照）。

3 電源をONにしたときに右の画面が表示された場合は、SD カードを初期化する必要があります。
ロータリーマルチセレクターで［初期化する］を選び、Ⓚ ボタンを押すと確認画面が表示されます。もう一度［初期化する］を選び、Ⓚ ボタンを押すと初期化が始まります。
初期化中は、電源を OFF にしたり、バッテリーや SD カードを取り出したりしないでください。
- **SD カードを初期化すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。**カード内に必要なデータが残っているときは、初期化する前にパソコンなどに保存してください。

SD カードを取り出すときは、**電源ランプが消灯していることを確認してから、**バッテリー/SD カードカバーを開けてください。カードを指で軽く奥に押し込んで離すと、カードが押し出されます。まっすぐ引き抜いてください。

Step 5 言語と日時を設定する

はじめて電源を ON にすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が表示されます。以下の手順で設定してください。

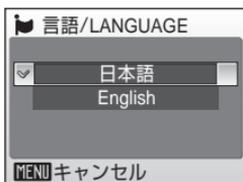
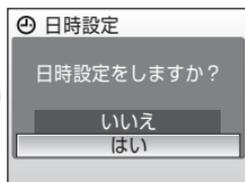
ロータリーマルチセレクター
言語と日時の設定には、ロータリーマルチセレクターを使います

クルクル回して項目を選ぶ

㊗ ボタンを押して決定する

以下の説明では、操作するボタンをグレーで示しています。

5.1

表示言語を選び ㊗ ボタンを押す

5.2

［はい］を選び、㊗ ボタンを押す

- ［ワールドタイム］画面が表示されます。

5.3

㊗ ボタンを押す

- ［自宅の設定］画面が表示されます。

夏時間（サマータイム）が現在実施されているときは、ロータリーマルチセレクターを回して［夏時間］を選び、㊗ ボタンを押します。ロータリーマルチセレクターの上部を押して、Step 5.3に戻ってください。

5.4

自宅のある地域を選び、OK ボタンを押す

- ［日時設定］画面が表示されます。

5.5

［年］を合わせ、OK ボタンを押す

5.6

［月］を合わせ、OK ボタンを押す

- 同様の手順で、［日］および分単位まで時刻を合わせてください。

5.7

［年月日］の表示順を選び、OK ボタンを押す

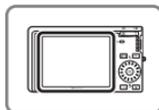
- 設定が有効になり、（オート撮影）モードの画面が表示されます。

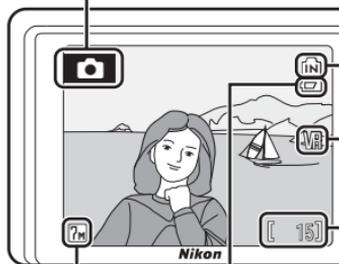
夏時間の期間が終了したときは、セットアップメニューの［日時設定］で［夏時間］のチェックボックスをオフにしてください。

使用説明書 101 ページ

いよいよ撮影！

Step 1 液晶モニターの表示を確認する

バッテリー残量と記録可能コマ数を確認してください。

（オート撮影）モード
オート撮影のときは が表示されます。ほかの撮影モードを選ぶには、MODE ボタンを使います（14）。
使用説明書 20-25 ページ

内蔵メモリー表示
画像は内蔵メモリー（約 26 MB）に記録されます。
SD カードをカメラに入れたときはが表示されず、画像はSDカードに記録されます。

手ブレ補正表示
手ブレを補正します。
使用説明書 108 ページ

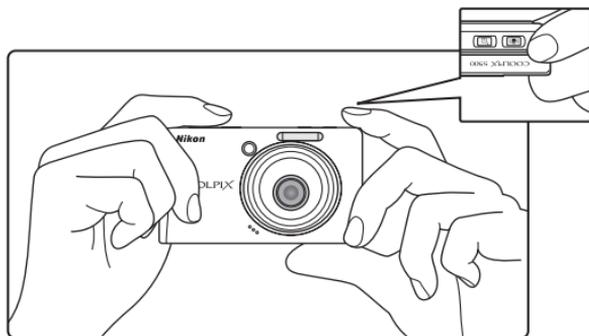
記録可能コマ数

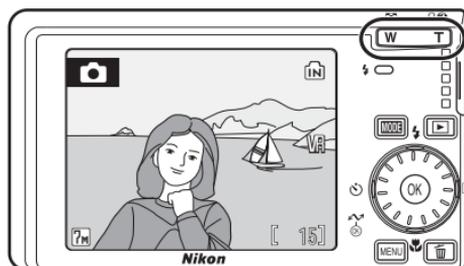
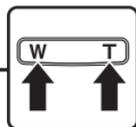
バッテリー残量

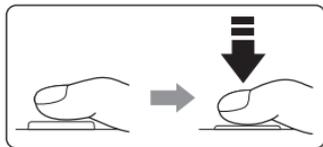
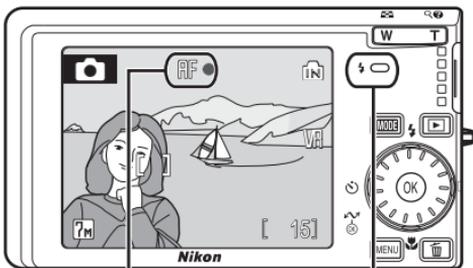
表示なし	バッテリー残量は充分にあります。
（点灯）	バッテリー残量が少なくなりました。バッテリーの充電や交換の準備をしてください。
電池残量がありません	撮影できません。バッテリーを充電または交換してください。

画像モード
撮影目的に応じて、7 種類の画像モードから選べます。
使用説明書 82 ページ

Step 2 カメラをしっかりと構える

- カメラを両手でしっかりと持ってください。
- レンズやフラッシュなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。

Step 3 構図を決める

- 写したいもの（被写体）を、画面の中央付近にとらえてください。
- ズームボタンを使うと、被写体をアップにしたり背景を入れたりして、構図を工夫できます。

ズームボタン
広い範囲を写したいときは **W** ボタンを、被写体を大きく写したいときは **T** ボタンを押してください。

Step 4 ピントを合わせて撮影する

4.1 シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま途中で止めてください（これを“半押し”といいます）。

- 初期設定では、9 つある AF（オートフォーカス）エリアのうち、もっともカメラに近い被写体があるAFエリアでピントが合い、露出が決まります。
- 半押しを続けている間、ピントと露出は固定されます。
- シャッターボタンを半押しすると、ピントやフラッシュの状態を確認できます。

AF（オートフォーカス）表示

	緑色点灯	被写体にピントが合っています。
	赤色点滅	被写体にピントが合っていません。構図を変えてもう一度ピントを合わせてください。

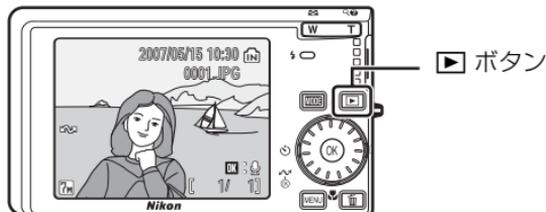
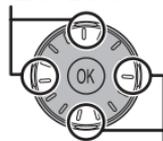
フラッシュランプ

	赤色点灯	シャッターボタンを押し込むと、フラッシュが発光します。
	赤色点滅	フラッシュの充電中です。
	消灯	フラッシュは発光しません。

4.2 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む（全押しする）

- シャッターがきれ、画像が記録されます。
- シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれることがあります。シャッターボタンは、ゆっくりと押し込んでください。

Step 5 撮影した画像を確認する

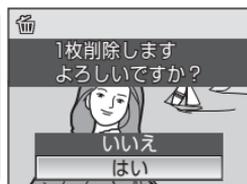
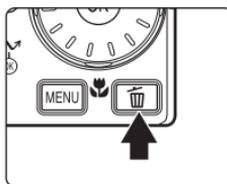
▶ ボタンを押すと撮影した画像が表示されます（1 コマ再生モード）。

ロータリーマルチセレクターの左または上を押すと前の画像を、右または下を押すと次の画像を見ることができます。

1 コマ再生モードでは次の機能が使えます。

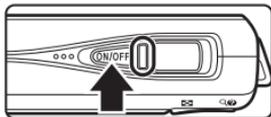
機能	ボタン
画像を拡大する	**T**（Q）
サムネイル表示に切り換える	**W**（▦）
音声メモを録音 / 再生する	OK
暗い部分を明るく補正する	☺

▶ ボタンまたはシャッターボタンを押すと、撮影モードになります。

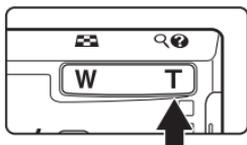
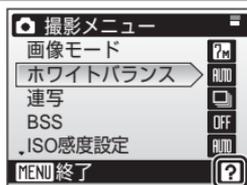
使用説明書 26 ページ

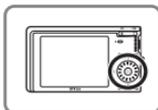
不要な画像を削除するには

不要な画像を表示させ、🗑 ボタンを押してください。右のような画面が表示されたら、ロータリーマルチセレクターで[はい]を選び、OK ボタンを押してください。その画像が削除されます。

Step 6 電源を OFF にする

電源スイッチを押してください。電源ランプが消灯し、電源が OFF になります。

メニューを使う

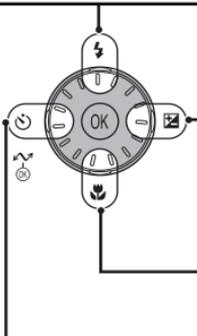
撮影や再生の設定をメニューを使って変更できます。
MENU ボタンを押すと、選んでいるモードに応じてメニューが表示されます。メニューを設定するには、ロータリーマルチセレクターを使います（6）。
メニュー画面で **T**（?）ボタンを押すと、選択中の項目に関するヘルプ（簡単な説明）が表示されます。
メニュー（音声レコードを除く）操作中にシャッターボタンを押すと、直前の撮影モードになります。

使用説明書 81 ページ

フラッシュ、セルフタイマー、マクロモード、露出補正を使う

撮影モードのときに、ロータリーマルチセレクターを使って以下の設定ができます。

フラッシュ

フラッシュの発光モードを選びます。

モード		内容
⚡AUTO	自動発光（オートモードの初期設定）	暗い場所などで、自動的にフラッシュが発光します。
⚡◎	赤目軽減自動発光	人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減できます。
⊛	発光禁止	フラッシュは発光しません。
⚡	強制発光	被写体の明るさに関係なく、フラッシュが発光します。逆光で撮影するときなどに使います。
⚡	スローシンクロ	フラッシュでメインの被写体を明るく照らしながら、遅いシャッタースピードで夕景や夜景などの背景をきれいに写します。

使用説明書 28 ページ

露出補正

画像全体を明るくしたいときや暗くしたいときなどに使います。
画像が暗すぎるときは、補正値を＋側に設定してください。画像が明るすぎるときは、補正値を－側に設定してください。

使用説明書 32 ページ

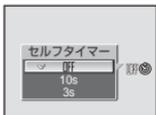
マクロモード

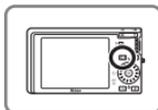
接写するときに使います。 マークが緑色で表示されているときは、レンズ前約 15 cm までの被写体にピントを合わせられます。

使用説明書 31 ページ

セルフタイマー

セルフタイマーは 10 秒と 3 秒の 2 種類から選べます。セルフタイマーを使って撮影するときは、カメラを三脚などで固定するか、平らで安定した場所に置いてください。

使用説明書 30 ページ

MODE ボタン

撮影時に MODE ボタンを押すと撮影モードメニューが表示され、再生時に押すと再生モードメニューが表示されます。

各モードを切り換えるには、次のように操作します。

1

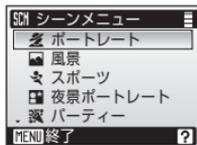
モードを選んで OK ボタンを押す

2

選んだモードに切り換わる

シーンモード

15 種類のシーンモードを選ぶだけでシーンに合った撮影ができます。

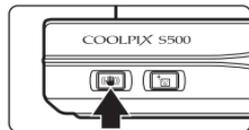
1 撮影時に MODE ボタンを押し、ロータリーマルチセレクターで SCENE を選んで OK ボタンを押す
2 MENUボタンを押してシーンメニューを表示させ、使用するシーンを選んで OK ボタンを押す

シーンモードの種類と特徴

種類	特徴
ポートレート	人物の肌などを自然な感じで
風景	自然の風景や街並みなどを色鮮やかに
スポーツ	スポーツのシーンを連写でとらえる
夜景ポートレート	人物もバックの夜景も鮮やかに
パーティー	パーティ会場などの照明の雰囲気を活かす
海・雪	海や砂浜、雪景色などを鮮やかに
夕焼け	夕焼けや朝焼けの撮影
トワイライト	夜明け前や日没後の風景
夜景	夜景の雰囲気をとらえる
クローズアップ	接写
ミュージアム	フラッシュ禁止の屋内撮影
打ち上げ花火	打ち上げ花火を鮮やかに
モノクロコピー	ホワイトボードや印刷物の文字
逆光	逆光での撮影
パノラマアシスト	パノラマ写真に合成する画像の撮影

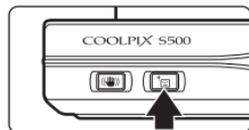
使用説明書 34 ページ

ブレ軽減モード

ボタンを押すと「ブレ軽減モード」になり、手ブレや被写体ブレの影響を軽減し、鮮明な画像を撮影できます。

使用説明書 42 ページ

フェイスクリアーモード

ボタンを押すと人物撮影に適した「フェイスクリアーモード」になり、カメラが人物の顔に自動的にピントを合わせます。画面に表示される マークを目安に、人物の顔をとらえてください。

使用説明書 43 ページ

PictureProject をインストールしよう

PictureProject のご案内

付属のソフトウェア PictureProject（ピクチャープロジェクト）をパソコンにインストールすると、撮影した画像をパソコンに転送して、画像の整理や編集が簡単にできます。詳しくは PictureProject の使用説明書（銀色の CD-ROM）をご覧ください。
PictureProject の主な機能は、以下のとおりです。

整理モード：写真を表示したり、整理することができます。

編集モード：写真の明るさや色合いを補正したり、写真の一部を切り取ること（トリミング）ができます。

写真表示エリア：アルバム内の写真が表示されます。

アルバム一覧：写真を登録したアルバムが表示されます。

デザインモード：写真をいろいろなレイアウトに並べ換えることができます。

ほかにも以下のような機能があります。

- 写真を印刷する
- 写真付きメールを送る
- スライドショーで写真を見る
- 写真を CD や DVD に保存する

PictureProject の使用説明書を見るには

PictureProjectの使用説明書（銀色のCD-ROMに収録）をご覧いただくためには、Adobe Reader または Adobe Acrobat Reader 5.0 以降が必要です。

1 パソコンを起動し、銀色の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる

2 ［マイコンピュータ］の CD-ROM ドライブ（Nikon）をダブルクリックするか（Windows）、デスクトップ上の CD-ROM（Nikon）をダブルクリックする（Macintosh）

3 ［INDEX.pdf］アイコンをダブルクリックする
はじめに表示される画面で表示言語を選ぶ（クリックする）と、使用説明書の目次（INDEX）が表示されます。それぞれの見出しをクリックすると、その項目についての説明が表示されます。

インストールの前にご確認ください

PictureProject の動作環境

	Windows	Macintosh
CPU	Pentium 300 MHz 相当以上（Pictmotion 機能は Pentium III 550MHz 相当以上）	PowerPC G4、G5、インテルプロセッサ（Rosetta で動作）
OS ※	32bit版のWindows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate、Windows XP Home Edition/Professional、Windows 2000 Professional（すべてプリインストールされているモデルに対応）	Mac OS X（Version 10.3.9、10.4）
ハードディスク	インストール時：60 MB 以上の空き容量	
メモリー (RAM)	64 MB（Pictmotion 機能は 128 MB）以上の空きメモリー	
モニター解像度	800 × 600 ドット以上、16 ビットカラー（High Color）以上（24 ビットカラー推奨）	
その他	USB ポートが標準装備されているモデルに対応	

※対応 OS に関する最新情報は、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

ご注意

PictureProject をインストールする前に

- ウイルスチェック用のソフトウェアは終了させてください。
- 他のアプリケーションソフトウェアはすべて終了させてください。

PictureProject をお使いになるときは（インストール / アンインストールを含む）

コンピュータの管理者権限のアカウントでログインしてください。

操作説明には Windows XP の画面を使用しています。

ソフトウェアをインストールしよう

1 パソコンを起動し、PictureProject ソフトウェア CD-ROM（黄色の CD-ROM）を CD-ROM ドライブに入れる

- **Windows の場合**
  次ページの手順 3 の［Welcome］ウィンドウが起動します。
  Windows Vista の場合は、画面の指示にしたがってください。

［Welcome］ウィンドウが自動的に開かない場合

［スタート］メニューから［マイコンピュータ］を選び（Windows Vista の場合は［スタート］メニューから［コンピュータ］を選び、Windows 2000 Professional の場合はデスクトップ上の［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックして）、マイコンピュータウィンドウを開いてその中の CD-ROM（PictureProject）アイコンをダブルクリックしてください。

- **Macintosh の場合**
  デスクトップの CD-ROM（PictureProject）アイコンをダブルクリックし、開いたフォルダ内の［Welcome］アイコンをダブルクリックします。

2 管理者の［名前］と［パスワード］を入力する（Macintosh のみ）

管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックしてください。
Windows をお使いの方は、ステップ 3 にお進みください。

3 ［標準インストール］をクリックする

標準インストール:PictureProject と PictureProject に必要なソフトウェアをインストールします。

カスタムインストール:必要に応じてインストールするソフトウェアを選択できます。

ニコンソフトウェア体験版※:ニコンの別売ソフトウェアの体験版がダウンロードできます。

カスタマー登録※:ご購入製品のカスタマー登録ができます(P.2)。

サポートのご案内※:サポートのご案内や、[お読みください]を参照できます。

※ [ニコンソフトウェア体験版]、[サポートのご案内]および[カスタマー登録]には、インターネットに接続できる環境が必要となります。

Windows XP をお使いの方は

画面の指示にしたがって PTP ドライバーをインストールしてください（ご使用の Windows XP のバージョンによっては、Windows XP セットアップウィザードが起動する場合があります）。

4 Panorama Maker をインストールする

画面の指示にしたがってインストールしてください。

5 Apple QuickTime ※をインストールする

[はい] をクリックしてください。お使いのパソコンによっては、QuickTime のインストールに時間がかかる場合があります。

※ QuickTime の Windows Vista 対応状況については、アップルコンピュータ社のホームページで最新情報をご確認のうえ、Windows Vista に対応した最新版をお使いになることをおすすめします。

Macintosh をお使いの方は

ご使用のパソコンにインストールされている QuickTime が古いバージョンの場合は、次ページの手順 8 で PictureProject のインストールが終了した後に QuickTime のインストールが始まります。画面の指示にしたがってインストールしてください。

6 PictureProject の使用許諾契約を確認する

［使用許諾契約］の内容をよくお読みの上、［はい］（Windows）または［同意する］（Macintosh）をクリックしてください。

7 PictureProjectをインストールする

［次へ］（Windows）または［インストール］（Macintosh）をクリックし、画面の指示にしたがってPictureProjectをインストールしてください。

8 インストールを終了する

［完了］（Windows）または［終了］（Macintosh）をクリックし、画面の指示にしたがって［Welcome］ウィンドウを閉じてください。

※ パソコンを再起動するダイアログが表示された場合は、ダイアログにしたがってパソコンを再起動してください。

DirectX 9 のインストール（Windows XP/2000 のみ）

お使いのパソコンにDirectX 9がインストールされていない場合は、続いて DirectX 9 のインストールが始まります。画面の指示にしたがってインストールしてください。

9 ［登録アシスタント］が自動的に起動する

登録アシスタントは、すでにパソコンに保存されている画像をPictureProjectで表示できるように登録するための機能です。カメラで撮影した画像をすぐにPictureProject で転送する場合は、［閉じる］をクリックして登録アシスタントを終了してください。
PictureProject への画像の登録は、後からでも行えます。

10 PictureProject ソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す

これでインストールは完了です。「画像をパソコンで見てみよう」（21）にお進みください。

画像をパソコンで見てみよう

カメラをパソコンに接続する前に

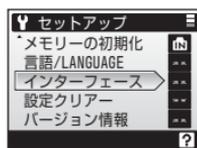
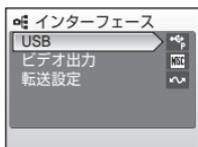
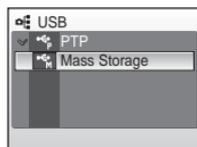
以下の点をご確認ください。

PictureProject をインストールする：
インストール前にカメラを接続して「新しいデバイスの検出」が起動した場合は、［**キャンセル**］ボタンをクリックしてウィザードを終了してください。

Windows 2000 Professional をお使いの方は：
以下の手順でセットアップメニューの［インターフェース］→［USB］を［Mass Storage］に変更してください。初期設定の［PTP］では、接続できません。

1 MODE ボタンを押して、モードメニューを表示する

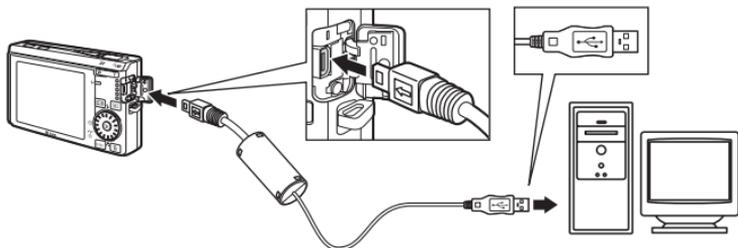
2 （セットアップ）を選び、OK ボタンを押す

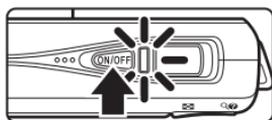
3 ［インターフェース］を選び、OK ボタンを押す

4 ［USB］を選び、OK ボタンを押す

5 ［Mass Storage］を選び、OK ボタンを押す

画像転送時の電源について

途中でバッテリーが切れないように、充分に残量のあるバッテリーまたは別売の AC アダプター EH-62D をお使いください。その他の AC アダプターは絶対にお使いにならないでください。

画像をパソコンで見てみよう

1 カメラの電源を OFF にする

2 カメラと起動済みのパソコンを、USB ケーブルで下図のように接続する

3 カメラの電源を ON にする

パソコンがカメラを自動的に認識して、パソコンに PictureProject Transfer が表示されます。［転送］ボタンをクリックすると、カメラに記録されているすべての画像がパソコンに転送されます。

［転送］ボタン

Windows Vista/XP をお使いの方は

カメラの電源を ON にすると、右のような画面が表示されます。
［PictureProject（コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする)］を選んで［OK］ボタンをクリックすると、PictureProjectが起動します。常に PictureProjectTransfer で画像を転送するときは、［この動作には常にこのプログラムを使う］にチェックを入れることをおすすめします。

4 PictureProject で画像を確認する

画像の転送が完了すると、PictureProject に自動的に画像が登録され、PictureProject が起動します。

5 カメラとパソコンの接続を外す

Windows Vista/XP、Mac OS X の場合：
カメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを抜きます。

Windows 2000 Professional の場合：
パソコン画面右下の［ハードウェアの取り外しまたは取り出し］アイコンをクリックして、［USB 大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）※を停止します］を選んでください。その後カメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを抜きます。

※ドライブ（E:）の「E」は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

COOLPIX S500 は、こんなことができます！

高感度モード ➡ 使用説明書 33 ページ

薄暗い室内でも、手ブレや被写体ブレの影響を防いで、周りの雰囲気を活かした撮影ができます。

動画 ➡ 使用説明書 56 ページ

動画撮影が気軽に楽しめます。

D- ライティング ➡ 使用説明書 48 ページ

逆光やフラッシュの光量不足で暗くなってしまった被写体だけを撮影後に明るく補正することができます。

音声レコード ➡ 使用説明書 63 ページ

ボイスレコーダーのように、音声だけを録音できます。

PictBridge **ダイレクトプリント** ➡ 使用説明書 74 ページ

カメラとプリンターを直接つないでプリントできます。

インターネットをご利用の方へ

- デジタルカメラなどのカメラ製品の情報やオンラインアルバム、オンラインショッピングなど、デジタルカメラと写真の楽しみを広げるホームページです。
  http://www.nikon-image.com/
- 対応 OS の最新情報、ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報は下記アドレスでご案内しています。
  http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm
- カスタマー登録は下記のホームページからも行えます。
  https://reg.nikon-image.com/

株式会社 ニコン
ニコンカメラ販売株式会社

Printed in Japan
YP7A01(10)
6MA27510--